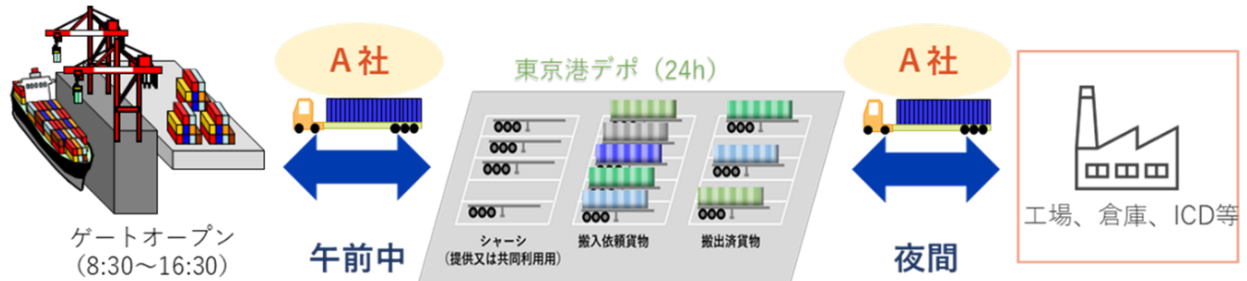


(別紙)

### オフピーク搬出入モデル事業（令和6・7年度）

- 東京港デポを活用し、午前中などのターミナルが比較的空いている時間にコンテナ搬出入を行う輸送モデルを構築
- 複数の荷主企業・物流事業者が連携し、ターミナルや道路が空いている時間帯に、コンテナを集中的に輸送
- 陸運事業者が夜間の内陸輸送に加え、自社で午前中の搬出入を実施



#### ■ 効果（R6年度の一例）

(ゲート前の待ち時間) 43分 → **7分**  
(輸送効率) 2本 → **3本/人日**  
(ドライバーの運転時間) 3.2時間 → **1.5時間/1貨物**

#### ■ 課題

- 午前中の東京港内の配車が困難
- 東京港デポを利用している間シャーシが使えない

### オフピークシャトル輸送事業（令和8年度～）

- 午前中の搬出入が難しい場合においてもオフピーク搬出入が可能となるよう、東京港側の新たな輸送のしくみを構築
- 港内専門のシャトル事業者が、陸運の依頼を受けて、東京港デポとターミナル間の輸送（港内シャトル輸送）を実施
- シャーシが不足する事業者には、シャトル事業者が共同シャーシを提供

